

8 川崎市の財政状況は大丈夫なの？



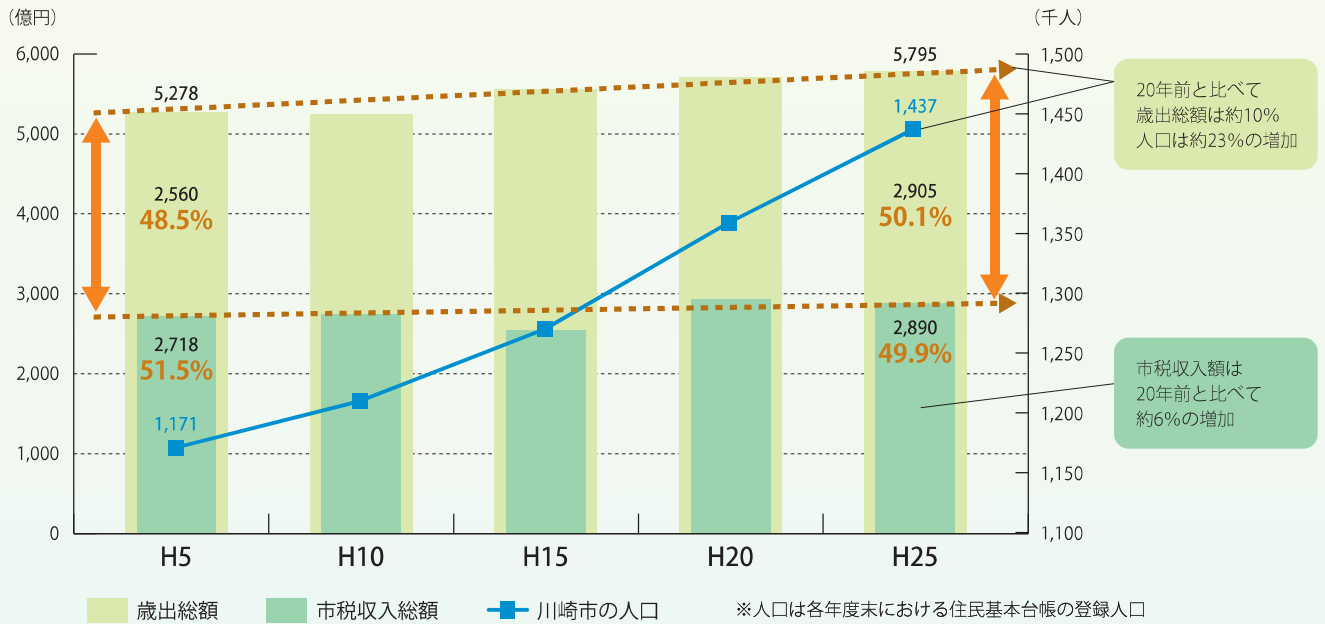
ここまでは予算を見てきましたけど、最近の財政状況はどうなっているのでしょうか？

なるほど、その視点も重要です。はじめに、決算から歳入の中心である市税と歳出の状況を見てみましょう。



過去のおサイフでのお金の出入り

歳出総額と市税収入額の推移(普通会計決算)



人口と歳出総額は以前と比べて結構増えているようですが、人口が増えているにもかかわらず、市税収入はそれほど増えていないんですね。

人口は増えていますが、その分新たな行政需要などに対応するため、歳出は増加しています。一方で、その財源となる市税収入は、厳しい社会経済状況の影響もあり伸び悩んでいる状況です。



他都市との比較のため、「普通会計」という会計区分を使っています。

決算って何？

予算を1年間どのように使ったのかの実績を示したものを「決算」といい、次年度の9月に市長が市議会に提出し、認定を受けます。また、市では「決算」の内容を分析し、次年度以降の予算執行の指針とします。

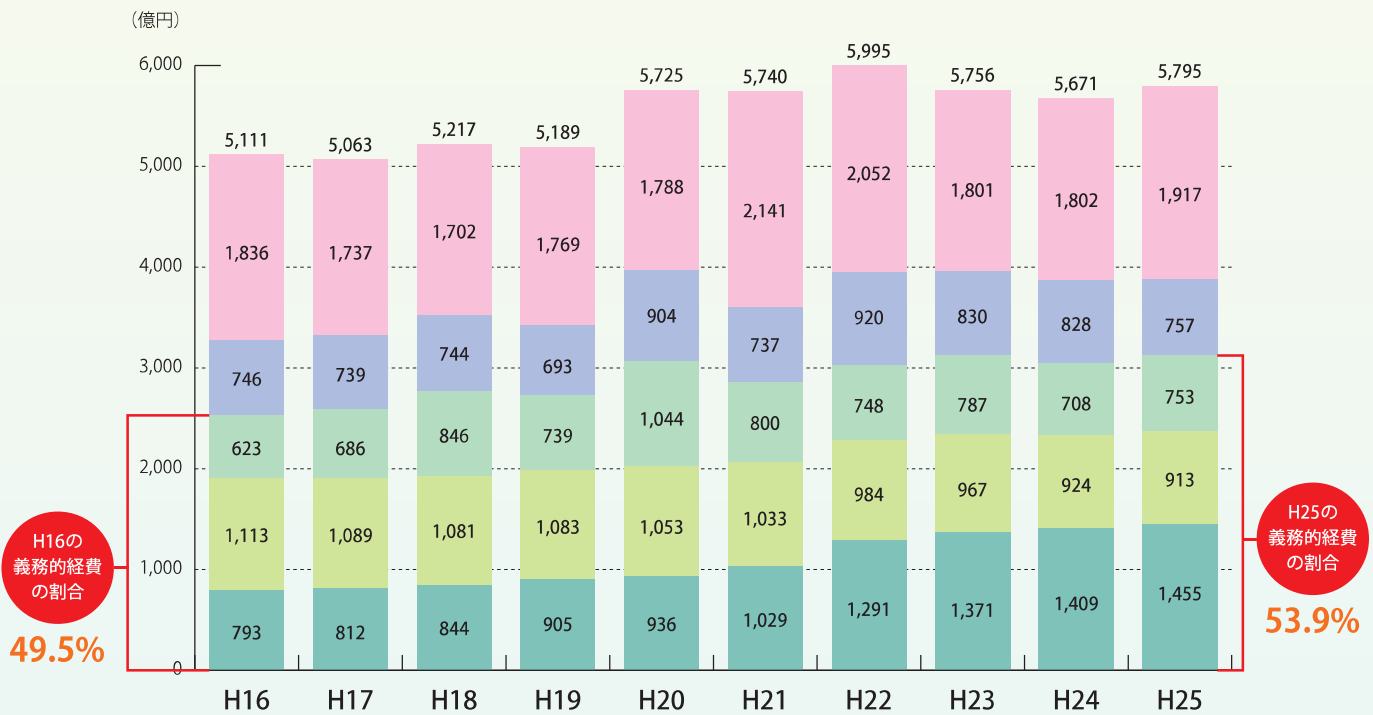




次に、歳出の内訳を見てみましょう。
歳出の半分以上を「義務的経費」が占めています。この割合が高くなるほど、それ以外の自由に使えるお金が少なくなります。

過去10年間におサイフから使ったお金

歳出(性質別)総額の推移(普通会計決算)



■ 扶助費
 ■ 人件費
 ■ 公債費
 ■ 投資的経費
 ■ その他経費

義務的経費



義務的経費を見ると、扶助費が年々増加し、平成25年度決算では歳出総額に占める割合が25%を超えましたね。一方で、人件費は減少しているようですが？

扶助費については、保育事業費の増などにより増加していますが、こうした中で、人件費を減らし、義務的経費を抑える努力をしています。義務的経費についてももう少し詳しく見てみましょう。

